

R3年度 学習状況の各種調査の結果

【全国学力状況調査】 第3学年 5月実施

	国語	数学
本校平均	62	55
都平均	67	60
全国平均	64.6	57.2

【杉並区特定の課題に対する調査、意識・実態調査】 5月実施

【国語平均正答率(%)】

第3学年	杉並区	本校	差	第2学年	杉並区	本校	差
H31	58.1	49.7	▲8.4	H31	68.5	66.6	▲1.9
R3	68.0	59.3	▲8.7	R3	64.2	64.9	△0.7
第1学年	杉並区	本校	差				
H31	66.9	61.2	▲5.7				
R3	68.8	72.9	△4.1				

【数学平均正答率(%)】

第3学年	杉並区	本校	差	第2学年	杉並区	本校	差
H31	57.1	53.1	▲4.0	H31	55.3	53.8	▲1.5
R3	59.2	57.8	▲1.4	R3	58.0	64.6	△6.6
第1学年	杉並区	本校	差				
H31	58.2	53.1	▲5.1				
R3	61.7	69	△7.3				

【英語平均正答率(%)】

第3学年	杉並区	本校	差	第2学年	杉並区	本校	差
H31	51.7	40.7	▲11.0	H31	60.9	58.4	▲2.4
R3	54.9	51.2	▲3.7	R3	59.1	58.3	▲0.8

【理科平均正答率(%)】

第3学年	杉並区	本校	差	第2学年	杉並区	本校	差
H31	59.4	51.3	▲8.1	H31	58.0	56.9	▲1.0
R3	56.0	53.4	▲2.6	R3	49.2	53.2	△4.0
第1学年	杉並区	本校	差				
H31	62.1	58.1	▲4.0				
R3	60.3	66.4	△6.1				

【区特定課題調査抜粋 生徒の意識・実態調査肯定率(数字は%)】

3学年とも80%超

2学年以上が50%未満

質問項目		1年	2年	3年
あなた自身のことについての質問	①今の自分に自信がある。	71	44	36
	②自分と違う意見や考え、気持ちも大切にできている。	94	87	89
	③今の自分に満足している。	61	18	36
	④家族や保護者は自分のことを気にかけてくれていると思う。	92	94	93
	⑤今の自分を「好き」と言える。	63	34	41
	⑥他の人や社会の役に立つ人間になりたいと思う。	90	94	91
	⑦自分は、努力すれば、いろいろな人と良い人間関係をつくっていくことができると思う。	92	89	86
	⑧人の話は、最後まできちんと聞いている。	92	90	91
	⑨自分の考えや気持ちを理解してくれる友だちがいる。	92	92	93
	⑩学校での生活は、自分たちが協力することで、自分にとってもみんなにとっても良いものにできる。	88	92	93
	⑪人の気持ちを分かろうとしている。	94	92	93
	⑫学校の生活が充実している。	92	89	82
	⑬今住んでいる地域の行事に参加している。	37	27	45
	⑭ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある。	94	81	86
	⑮毎日、朝食を食べている。	92	100	89
	⑯学校や地域・社会の人々のために、進んでボランティア活動をしている。	27	26	32

⑫⑭の大宮中での生活の充実感が80%以上あるのは一定の安心ですが、今後コロナ禍の中での教育活動の取り組みを、一層工夫していきます。最後までやりとげる達成感や満足感は、生徒の成長にとって極めて大切です。②⑦⑧⑨⑩⑪は、生徒が友達関係の充実感を大切にしており、互いに気を遣いながら生活している様子がうかがえます。①③⑤は自尊感情の項目で、③は、特に2・3年生が、今の自分に満足していない人が多い様子です。自分を厳しく見つめる感情が勝っており、良いところを誇れる自信を育てる必要があります。⑬⑭はコロナ禍の状況下で、厳しい現実が現れています。④について、多くの家庭で親子関係の安定がうかがえます。⑥について、生徒に自立と貢献の意識が高いのはうれしいです。⑮朝ご飯は学校生活の力の源です。ここは100%を目指しましょう。				
ふだんの勉強のやり方についての設問	⑰興味を持ったことは、自分から進んで学んでいる。	84	81	89
	⑱授業中、自分の考えや気持ちを発表することがよくある。	47	48	75
	⑲休み時間や放課後に、先生から勉強を教えてもらうことがよくある。	5.9	16	20
	⑳授業では、答えが一つにならないような課題を追求することが多い。	53	47	39
	㉑授業では、自分の得意な部分を伸ばしたり、苦手なところを少なくしたりできるように、一人で学んだり、先生が個別に教えてくれたりする時間がある。	47	42	48
	㉒授業では、自分だけでどうしても分からないことやできないことがあるとき、他の人（友だち）から教えてもらうことができる。	86	92	89
	㉓学校の授業を受けることにより、分かることやできることが増えている。	88	84	89
学習等家庭等	㉔授業では、一人で学んだり、必要な時にだれかと協力して学んだりする自由がある。	88	85	84
	⑰⑲⑳㉑について、学校の授業内において、自ら進んで学ぼうとする意識が高い生徒が多いことが分かります。一方で⑱㉒について、授業以外の時間や、自分が興味をもてないこと（教科）について、一層粘り強く学ぶ意識を高めて行動する必要があります。⑱については、コロナの影響もあると思いますが、授業中に自分の考えを発言したり、質問ができる積極的に課題があります。発表する機会を多く作る授業改善も必要です。㉒について、こうした課題を授業で取り上げることは、今後の課題です。			
	㉕1か月に読む本の平均冊数 ※右の数値は、5～10冊読んだ生徒の割合 (本校の平均 1年：7.2冊 2年：4.3冊 3年：2.8冊)	33	26	16
	㉖自分自身の力による学習について（平日） ※30分から120分	49	48	64
理科	㉗自分自身の力による学習について（休日） ※30分から120分	45	42	36
	㉕について、学年が上がるにつれて、読書量が減っている状況です。更に数字が上がるように、今後も読書の啓発を進めていきます。㉖㉗について、家庭学習時間については、30分から120分に当たらない生徒が、平日・休日とも、ほぼ半分以上います。120分以上やっている生徒なら良いのですが、ゼロから30分が多いとしたら、大きな課題です。授業と家庭学習はクルマの両輪です。『予習⇒授業⇒復習・宿題等』の学習サイクルを再度作るための、学校と家庭の指導が必要です。			
	㉘解決を目指す課題や問題、めあてを自分で決めること。	49	26	34
	㉙課題解決のための計画を自分で立てること。	49	32	36
国語	㉚解決を目指す課題や問題、めあてを自分で決めること。	29	48	43
	㉛必要な時に、必要な人と協力すること。	86	84	91
英語	㉜解決を目指す課題や問題、めあてを自分で決めること。	43	32	45
	㉝解決を目指す課題や問題、めあてを自分で決めること。	31	29	34
ICT	㉞課題解決のための計画を自分で立てること。	47	32	41
	㉟まとまった文を聞いたり読んだりして、その内容について英語で意見を述べ合うこと。		45	43
	㊱まとまった文を読んだ後、それに対して感想を述べたり賛成・反対などの意見を言ったりするために、文の要旨をとらえること。		45	45
	㊲単語と絵が書かれたカードを見て発音したり、音声を聞いてその単語が書かれたカードを選ぶこと。	86		
㉛について、数学の授業では問題を考えるのに仲間と協力して考える場面が多いようです。㉘㉙㉚㉛について、解決を目指す課題や問題、めあてを自分で決めること、がいずれの教科でも低い値となっています。毎日の授業、定期考査等で、自ら課題を設定して解決するための計画を立てて取り組むことが苦手な生徒が多いことが分かります。与えられた課題をこなすことに慣れている生徒を、自ら探究する意識を育てることが今後の課題です。㉟㊱㊲は、英語で単語を発音することは1年生は熱心にできていますが、2・3年生になると、英語で意見を交換したり、文の要旨をとらえる力が弱いと生徒自身が考えているのが分かります。				
ICT	㊳学校の授業で、電子黒板やインタラクティブボード、パソコンなどを使い、授業の内容と関係する動画や映像を見たり、音声を聞いたりすること。	90	81	95
	㊴学校の授業でPCを一人一台使い、いくつかの課題から自分の学習状況に合ったものを選んで解決する。	84	45	48
	㊵学校の授業で、電子黒板やインタラクティブボード、パソコンなどを使い、自分の考えや気持ちを説明したり、他の人と伝え合ったりすること。	84	45	45
㊳について、一人一台タブレットPCも導入され、昨年度までと違い、多く触れることがあり、電子黒板等のデジタル教材を使ったICTを活用した教育が進んでいることが分かります。㊴㊵について、この調査の時点では、PCを活用した、課題解決や表現、発表の取り組みが充分ではないことがうかがえます。今後のタブレットPCの一層の活用を図ります。				

※実際の調査は110項目あります。大宮中の特徴が見られる項目を抜粋しました。全体一覧表はホームページに掲載しました。